

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-2-1		事業名	円山動物園リニューアル事業
担当	環境局円山動物園経営管理課 村山 Tel 621-1426			
全 体 計 画				
事業内容	動物園内の各種施設の改修、改築などについて、基本計画に基づき順次実施する。 基本計画は、札幌市円山動物園基本構想に基づく概ね10年間の施設整備や経営戦略を計画したものである。		＜年度別の事業内容＞	
			H19 エゾシカ・オオカミ舎建設 H20 熱帯植物館解体、エゾヒグマ館新築工事実施設計 H21 新は虫類館新築工事実施設計 エゾヒグマ館新築工事 白鳥池解体工事実施設計 エコパーク事業(熱源転換設計)	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	●エゾシカ・オオカミ舎完成(204,264千円) 597.06㎡		●熱帯植物館解体 28,511千円 老朽化及びコスト削減(A重油)のため解体する。	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	●エゾヒグマ館建設(146,157千円) 677㎡ 北海道固有の動物であるエゾヒグマを間近で観覧できる展示施設を建設し、身近な動物から環境問題や北海道の自然を考えるきっかけとする。 ●新は虫類館新築工事実施設計(9,545千円) 600㎡ 既存のは虫類館を解体し、新たに飼育動物の生息環境を効率よく作り出すことができる施設を建設するため、設計を行う。これにより、希少動物の繁殖を行うための必要な環境が整い、生物多様性のメッセージを発信することができる。 ●その他施設整備設計費(2,978千円) 将来のアジアゾーンの建設予定地となる白鳥池を解体する設計、及び園内の熱源を重油から、熱効率がよく安定供給が見込める天然ガスへ切り替える設計を行う。		●新は虫類館建設(412,100千円) 924㎡ 既存のは虫類館を円山動物園基本計画に基づきリニューアルするため建設工事を行う。また、新施設竣工後に旧施設(旧は虫類館、昆虫館)を解体するための設計を行う。 ●園内熱源転換整備(128,000千円) 園内動物舎の暖房等の熱源であるA重油を燃料とした蒸気ボイラの耐用が近づいていることから、暖房等のエネルギーの効率的な利用を計るため、各獣舎毎の天然ガスを熱源とした暖房システムに転換する。平成22年度から平成24年度の3年間で順次転換を計る計画である。 ●アジア館建設設計(24,900千円) 円山動物園基本計画に基づき、アジア館建設のための設計を行う。 ●白鳥池解体(38,300千円) 円山動物園基本計画に基づき、アジア館建設に支障となる白鳥池の解体を行う。また、白鳥池に流入している動物舎の排水を公共下水道に接続するための切替工事を解体前に実施する。 ●キッドランド解体(73,900千円) 円山動物園基本計画に基づき、アジア館建設予定地に現存する園内にある遊園地「キッドランド」を解体する。	
規				
模				
件				
数				
等				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-1		事業名	円山動物園リニューアル事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
[円山動物園リニューアル]基本計画の策定	-	素案策定	策定	/	/	策定 (19年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 市民動物園会議の開催</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 企業等からの寄付金により支援、アニマルファミリー制度による支援 [人材協力] 該当なし [情報協力] 該当なし [その他の協力] 該当なし</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし</p>							
評 価 (成 果)			課 題				
<p>○H19年度、20年度、21年度と計画を滞りなく実施し、エゾシカ・オオカミ舎、エゾヒグマ館により北海道や北方に生息する動物を展示し、その動物たちのおかれている現状や環境についてもパネル等で詳解することで、身近な環境問題について普及啓発ができた。また、熱帯植物館の解体により、重油使用量が約20%削減することができ、H22年度の熱源転換事業により、さらに削減することができると予想され、収支均衡の持続可能な経営に近づきつつある。</p>			<p>○動物園が発信するメッセージをより普及・啓発のできる新施設を活用した環境教育・レクリエーションのプログラムの検討が必要である。</p>				
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
○円山動物園基本計画に沿って、事業を実施していく。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-1			事業名	円山動物園リニューアル事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金					0				
	市の債					0				
予算	事業費	231,900	40,000	164,780	677,200	1,113,880				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	359,000	359,000				
実績	事業費	204,264	28,511	158,680	—	391,455				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 当事業は、札幌市円山動物園基本計画に基づいて実施するものであり、事業計画時には基本計画が策定されていなかったことから、計画上の事業費は未設定であり、予算査定と同時に計上していくこととしている。										
[19年度]										
[20年度] 競争入札により、熱帯植物館の解体工事費を必要最小限とすることができたため、11,489千円の節約となった。										
[21年度]										
[22年度]										